



『覚・求・徹』

～ 校長室だより ～

令和5年4月17日

第1号

葛城市立白鳳中学校



初めまして、この4月より白鳳中学校に赴任しました校長の中川順一です。10年ぶりに白鳳中学校に戻り、大変新鮮な気持ちでいっぱいです。校長室からうかがえる学校の姿をお伝えできればと思います。タイトルは本校の校訓から一文字ずつとり『覚・求・徹』としました。白鳳中学校の生徒がこの校訓を常に心に刻み、学校生活を充実したものにしていってくださることを願い、タイトルとしました。

令和5年度白鳳中学校の教育活動がスタート！

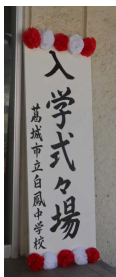
2, 3年生だけの4/6の着任式と始業式。大変落ち着いた雰囲気の中でのスタートでした。始業式では、私から『笑顔』と『あいさつ』を大切にしながら、WBCの日本チーム以上の『居心地の良い学校』にするために一緒にがんばりましょう！』と伝えました。

4/10には、いよいよ入学式。新入生男子94名、女子66名、計160名を迎え、緊張感の中にも「やる気」と「希望」に満ちた姿で点呼にも大きな返事で答えてくれました。



新入生のみなさんには、夢、目標に向かって具体的にやるべき事を決めていくことを伝えました。

そして、そのためにも、本校の校訓「覚めよ・求めよ・徹せよ」をしっかりと胸に刻み、これから始まる中学校生活を私たちと一緒に素晴らしいものにしていければと思います。



第73回創立記念日(4月22日)

昭和24(1949)年當麻中学校と磐城中学校の両校が合併し、白鳳中学校が設立されました。当初の校舎は、竹内(現総合体育館)に建築されていましたが、昭和48年度には現在の校舎が新築され、旧校舎にあった校訓碑も、現在の場所(正門内左側)に移されました。

磐城・當麻の両中学校が合併したとき、校名を各方面から募集し、「白鳳中学校」と決まりました。當麻町の歴史的遺産である當麻寺が、白鳳時代に造営され、「當麻町は白鳳文化の郷」と言われたことに由来します。

白鳳中学校の名称から、「鳳凰」がシンボルとして校章及び校旗に使用されています。鳳凰は、中国でめでたいときに現れる鳥だと言われています。

「友達」
→ 困ったとき、助けてくれたり自分の事のように心配して相談に乗ってくれるそんな友人が欲しい
馬鹿野郎、友達が欲しかったら困った時に助けてやり相談に乗り心配してやる事だ
そして相手に何も期待しない事これが友達を作る秘訣だ

保護者のみなさま

保護者のみなさまや地域の方々には本校へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。本校が、生徒を中心として、教職員、保護者、地域の方々とともにチーム「白鳳中学校」として前進していければと願っております。

文責 中川